

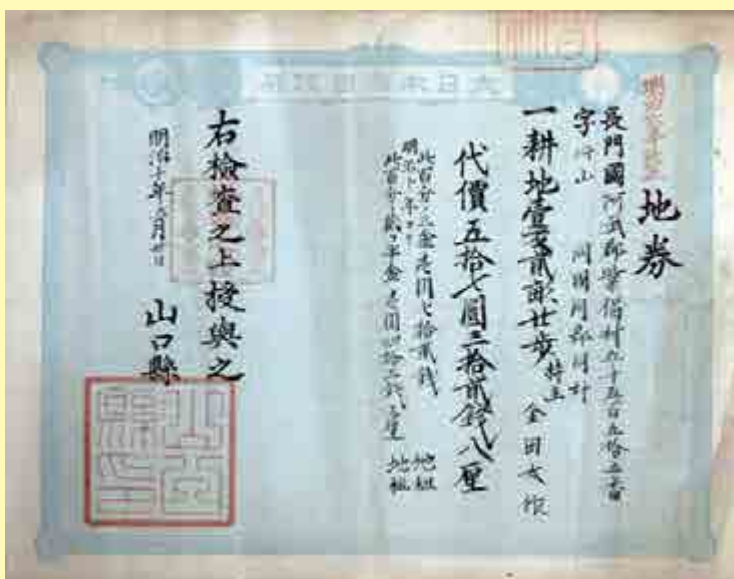
⑥ 藩から県へ 農業の近代化〜近代の日本〜



解説

ち そ かいせい 地租改正

地租改正は、地主や自作農に「地券」を発行し、土地の所有を認めるとともに、地価の3%を税として現金で納めるものです。年貢から金納へ転換したことにより、政府の財政は安定しました。地租改正は、米中心からお金を中心の社会システムに変える制度でした。しかし、地租を払えない多くの百姓が土地を手放すこととなり、地主と小作人の分化が進んでいったのです。



(山口県文書館 蔵)

豆知識

写真や銅像の「忠犬ハチ公」は、左耳が垂れ下がっていることに気づいていましたか？ これは、帰らぬ上野博士を待ち続ける間に野犬に噛まれ、けがを負ったためです。



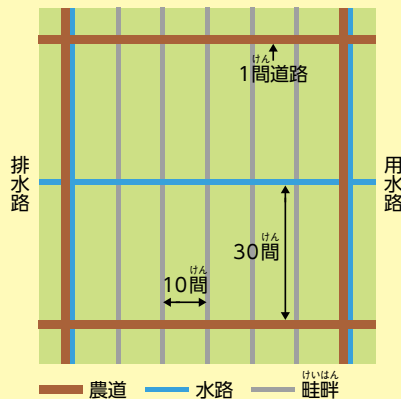
耕地整理って何？



「かんでんばこう乾田馬耕」と呼ばれる近代農法に適するように、小さくて不整形だった農地を広く四角い区画にして、耕作道や用排水路も整備したんだ。



忠犬ハチ公



〔「大地への刻印」より〕



従来は用水路に排水も流れこんでできてたんだけど、用水路と排水路を別々にすれば水を制御して田んぼを乾かせるので、牛馬が歩けるようになるし、全ての区画に道路と水路が面しているから、作業効率が大幅にアップできるんだよ。



〔「大地への刻印」より〕

明治期には牛馬に引かせるすき犁が発達したので深く耕することができるようになり、肥料も改良して生産性が上がったんだ。



ドイツなどの土地制度を参考にして1899（明治32）年に「耕地整理法」が制定されて、全土地所有者の3分の2の人数が同意すれば強制的に耕地整理の事業が実施できるようになったの。

近代的な農業への第一歩ともいわれ、政府が奨励して全国的に普及したんだよ。「3分の2以上の同意による強制」の制度は、現代の土地改良法にも引き継がれているよ。





新しい土地の開拓

明治政府による身分制度の廃止や地租改正により職を失った士族があふれました。

そこで、明治政府は士族を救済する「士族授産制度」を設け、北海道、安積原野など未開発だった土地の開拓が行われました。

屯田兵による北海道の開拓

開国したばかりの明治政府は「富国強兵」を柱に、石炭、木材などの豊富な天然資源と稲作を実現する農地を得るために北海道の開拓をはじめました。明治7年に「屯田兵」制度を設け、士族を農民兼兵士として集団移住させ、失業した士族を救済すると同時にロシアからの侵攻に備えました。しかし、当時の北海道は原生林が生い茂り、近代的な土地開発のためには欧米の技術が不可欠でした。このため、明治8年に日本初の学士の学位を授与する近代的大学である札幌農学校(現在の北海道大学)を開校。初代学長のクラーク博士など欧米の専門家を招いて、開拓技術者を養成することにより、洋式農法を導入しました。水田の「水」を確保するためのかんがい施設を整備し、アメリカ型の広大な区画割で道路、農地、村落等を整備したのです。



(「水土の礎」より)

安積疏水

明治12年から3年の年月をかけ、幹線水路52km、トンネル37か所等を整備。ファン・ドールン(オランダ人技師)の指導により日本で初めて近代的な用水計画を立て、セメント、ダイナマイト、蒸気ポンプなどの西欧技術が取り入れられました。用水は水力発電や飲用にも使われて、工業都市である郡山の発展にも貢献しました。日本三大疏水の一つです。



開拓の様子
(「水土の礎」より)



豆知識

明治新政府は古い身分制度を廃止し、それまでの「武士」を「士族」としました。

⑦戦後 農地改革と土地改良

～現代の日本1～

家も畑も
田んぼもみんな
焼けちゃったね

みんな
暗い顔してる

大戦が終わり
荒廃した国土に
約600万人が
海外から帰還しました。

ミー
おなかですいたね

これに米の
不作が重なり
都市では配給[※]する
食料不足が起こり
飢餓^{きが}状態に陥りました。

ダメ!!

いめんなんこ

※「配給」は戦争による物資不足に対応するため、米などの食べ物や衣類などを、国が割り当てて配る制度。物資がさらに不足すると、人々は農村へ買い出しに行ったり非合法的な市場「闇市^{やみいち}」に行ったりして飢餓^{きが}に耐えました。